



2017/2/1 厚生館保育園

2月3日は節分、節分とは、季節の分かれる日の意味で、立春、立夏、立秋、立冬の前日を指していました。一般的には立春の前日で、春は年の始まりであり、季節の変わり目には邪気が生じるという考えから鬼払いなどの儀式が行われるようになったようです。3日の豆まきは、「鬼は～外！」と、子ども達と一緒に病気の邪気を払いましょう。

1月の感染症

インフルエンザA：もも1名 はと5名

国立感染症センター、感染症サーベイランスによると、1月30日現在で、都内で2024名の登録、墨田区内では199名の登録者がいます。あくまでも登録されている地域だけです。倍の人数が感染していると思われます。2月、3月は流行時期に入っていますので、お子さんはじめ、家族の方の体調には十分に注意するようにしましょう。

冬のスキンケア

子どもの肌はデリケート
冬の寒さや感想はお肌の大敵
日頃のお手入れが大切です。

○刺激は少なく

アクリルなどの合成繊維でできた衣類は、体から発散した水分を蓄える力がないので、皮膚を乾燥させます。また、静電気が起きやすく、それによって皮膚が刺激されてかゆみを生じます。皮膚に接する衣類は、水分を蓄える作用のある木綿などがふさわしいでしょう。

○保湿剤はタップリ

保湿剤を塗るタイミングが大事です。角質層が水分で潤っているときに保湿剤を塗って水分を閉じ込めてしまうのが上手な使い方です。お風呂上りなら10分以内のまだ肌が湿り気を帯びているうちに塗りましょう。

○基本は清潔

顔に鼻水や食べかすが付いている時はきれいに拭き取りましょう。お風呂の温度はぬるめにして、ゆっくり入りましょう。“清潔に”というといついゴシゴシ洗いたくなりますが、お肌がボロボロになってしまいます。石鹸を泡立ててやさしく手で洗うようにしましょう。

おねしょとは違う “夜尿症” に注意

5歳以下で排尿期のが未熟なためにおもらしをしてしまうのが、いわゆる「おねしょ」。それとは違い、5~6歳を過ぎても月に数回以上おもらしをする場合は夜尿症かもしれません。アレルギーに次いで多い子どもの病気と云われています。適切な治療を受ければ3年後には約8割は治癒するというデータもあるので、気になる時はお医者さんに相談しましょう。

2月保健行事

- 2日（木）身体測定（2~5才児）
- 3日（金）地域身体測定
- 8日（水）身体測定（0,1才児）
- 10日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 17日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談
- 20日（月）地域・0才児健診
- 24日（金）地域ベビーマッサージ・育児相談

